

## 第2 教育研究団体の意見・評価

### ○ 全国公民科・社会科教育研究会

(代表者 上 村 肇 会員数 約1,000人)

T E L 03-3333-7771

#### 1 前 文

出題内容は、高等学校学習指導要領（以下「学習指導要領」という。）に掲げられた教科・科目のねらい及び内容におおむね即しており、基礎・基本を重視したものとなっている。いわゆる奇問・難問とされる問題は見られず、高校生が学習した知識や涵養した思考力に基づき、考えて解いていく工夫が施されている標準的な問題である。ここでは後期中等教育を与える現場からの意見と評価を申し述べる。

#### 2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等

全体を通して、質・量ともに、ほぼ例年どおりであり、学習指導要領に沿った無理のない出題が多い。基礎的基本的な知識理解から思考力判断力を問うものまで幅広く出題されている。中には、教科書の範囲を超えているものや高等学校では学ぶことが少ない専門的な知識や内容が見られる。

近年、8択問題を増やしている理由が平均点を下げるためだとすれば再考をお願いしたい。4択を提示することは出題の意図を高校生に伝える重要なメッセージである。また、「倫理」もしくは「倫理、政治・経済」を選択する高校生の多くが高い基礎学力を有しており、他の科目と比較して平均点が高くなる傾向は当然かと考える。

リード文はよく考えられたものである一方、各問との関連が希薄であったり、雑多な小問の寄せ集めのように高校生には受け取られかねない大問の構成であったりして、出題者の意図が十分発揮されていない問題もあるように見受けられる。厳しい条件の下での問題作成作業を承知の上で、更なる良問の作成をお願いしたい。

第1問 格差や不平等をどうするかという会話から考える。多面的多角的な視点から問題を分析する手法は納得できるが、合意形成を見いだせる展開とした方が「倫理」の科目の内容や目標に沿ったものとなる。

問1 遺伝子の応用技術をめぐる問い。選択肢を丁寧に読み考える問い。

問2 教育思想と人物の正しい組合せを選ぶ8択の問い。基礎的基本的な知識の問い。

問3 防衛機制についての基礎的基本的な知識を問う。

問4 『税と正義』を読み、内容を正確に把握できるか正確な読解力と思考力、判断力が求められる。モノを考える基礎訓練を日ごろから取り組んでいるかが問われた。

問5 グラフの読み取りと比較的長い説明文を正しく読み取る力が問われた。

問6 アファーマティブ・アクションの内容を問う。選択肢の説明を具体的に書けば平易になるが「倫理」の出題としてあえて抽象的な選択肢にしたものと思われる。

問7 責任をキーワードとしてハンス・ヨナス、ラッセル、シュヴァイツァーの思想内容を問う。ハンス・ヨナスを扱う教科書は少なく、戸惑った高校生は多かる。

問8 ボランティアについて基礎的基本的な知識を問う。

問9 コミュニタリアニズムについては新しい学習内容である。サンデルの考えに親しんでいれば容易だ。

- 問10 リード文の内容の正誤判定。選択肢の文章が長く、読む時間がかかる。丁寧に読み解く力も求められている。
- 第2問 規律や規範から様々な思想を渉猟することで高校生にものを考える基礎を作る重要さを訴えているようにも見える。否定的な側面も伝えることで多面的多角的に考えることができる工夫は必要かもしれない。源流思想の出題を工夫したと言える。
- 問1 孔子の礼について基礎的基本的な知識を問う。
- 問2 シャーリアについての正誤判定問題。高校生にとっては難しいかもしれない。
- 問3 ソクラテスについて問う。ソクラテスの死を学んでいれば平易。
- 問4 仏教思想から煩惱や苦について問う。無自性は難しい。三毒、四苦八苦などかなり詳しく尋ねられており難しい。
- 問5 キケロの『法律について』からの資料読解問題。思考力と判断力を問う。
- 問6 ユダヤ教の律法について問う。律法の与えられた機会が問われ、内容も細かい。
- 問7 イエスの教えについての基礎的基本的な知識を問う。
- 問8 先哲の思想について基礎的基本的な知識を問う。
- 問9 リード文の趣旨に合致する選択肢を選ぶ。丁寧に読めれば正答は容易だが思いのほか正答率は下がるのではないか。
- 第3問 喜びについての文章を読み、さまざまな思想を渉猟する。
- 問1 古代神話におけるスサノヲの行為として描かれた罪と償いについての内容を問う。古代日本思想の罪や禊、祓いの理解が求められる。
- 問2 和辻哲郎が日本の神をどう捉えていたかを問う。選択肢にちりばめられたキーワードを理解していても正答は難しい。
- 問3 仏教の受容について問う。『維摩経』と『金光明経』のどちらが護国經典かが決め手となるものの、『金光明経』を知る高校生は少ないと思われる。難しいのではないか。
- 問4 親鸞についての深い理解が求められた問い。
- 問5 室鳩巢を知る高校生は少なく、資料読解の問いとはいえ、易しくはなかったのではないか。丁寧に読めば正答は得られると思われる。
- 問6 本居宣長の儒教批判の内容を問う。単に知識が問われるだけでなく内容も難しい。
- 問7 武者小路実篤に関する内容理解の問い。文学史や文化史の知識を援用して考えたり、坂口安吾や小林秀雄などを想起して消去法で正解を導いたりした高校生も多いだろう。
- 問8 西田幾多郎について純粹経験の具体例を問う。単に用語を知っているかどうかを問うことにならないよう工夫された問い。
- 問9 リード文の趣旨を汲み取る読解力の問い。選択肢とリード文を比較して内容が合うか否かをつぶしていけば正答は容易である。
- 第4問 時間をめぐる西洋近代思想の展開を追う。思想史学習には参考になるリード文である。
- 問1 ルネサンスの文学や芸術を問うが世界史の知識を援用して正答を得ることになるか。『カンツォニエーレ』がペトラルカと知っていれば平易だが「倫理」の授業でそこまで学習することは少ない。
- 問2 ガリレイについて問うとはいえブルーノが分からないと正解は厳しいのではないか。世界史の知識と合わせて正答を得ることになる。
- 問3 ヴェーバーの官僚制について問う。フランクフルト学派やマルクスの主張などと並んでいて正答は容易に得られる。
- 問4 カントの認識論についての理解を問う。「対象が認識に従う」ことで正答は容易。感性

と悟性の形式については判断に迷う高校生は少なくなかったかもしれない。

問5 イギリス経験論についての基礎的基本的な知識を問う。

問6 ニーチェについての基礎的基本的な知識を問う。

問7 ベルグソンについての資料読解問題で思考力を問う。ベルグソンについて触れた教科書は少ないので高校生は面食らっただろう。ただ、丁寧な読解で正答は得られるだろう。

問8 ハイデガーについて問うがサルトルがわからないと正答は難しいのではないか。

問9 リード文の趣旨に合致したものを選ぶ手堅い出題。内容の要約になっており読解力を問う良問。